令和８年度　内閣府における行政事業レビュー優良事例の表彰について

１．概要

- 内閣府においては令和５年度より、職員の意識改革・行動変容を促すため、レビューシートの中から特に優れた改善を行った事例を選定、表彰を行い、参考として府内への普及を図っている。
- 令和８年度の優良事例として、アイヌ政策推進交付金を選定し、表彰を行った。
- また、EBPMの好事例の普及促進に加え、EBPM人材の育成も目的とし、令和７年度に引き続き今年度も府内若手職員による選考チームを編成し、有識者※の御意見も踏まえ、優良事例候補を選定した。

※　【有識者】
南島　和久氏（龍谷大学政策学部教授、行政事業レビュー外部有識者会合座長）
高木　麻美氏（EY新日本有限責任監査法人FAAS事業部）
中村　　圭氏（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング）


表彰式の様子

２．表彰対象及び選定理由

１）事業名　　アイヌ政策推進交付金（別紙）

大臣官房アイヌ施策推進室

２）主な選定理由

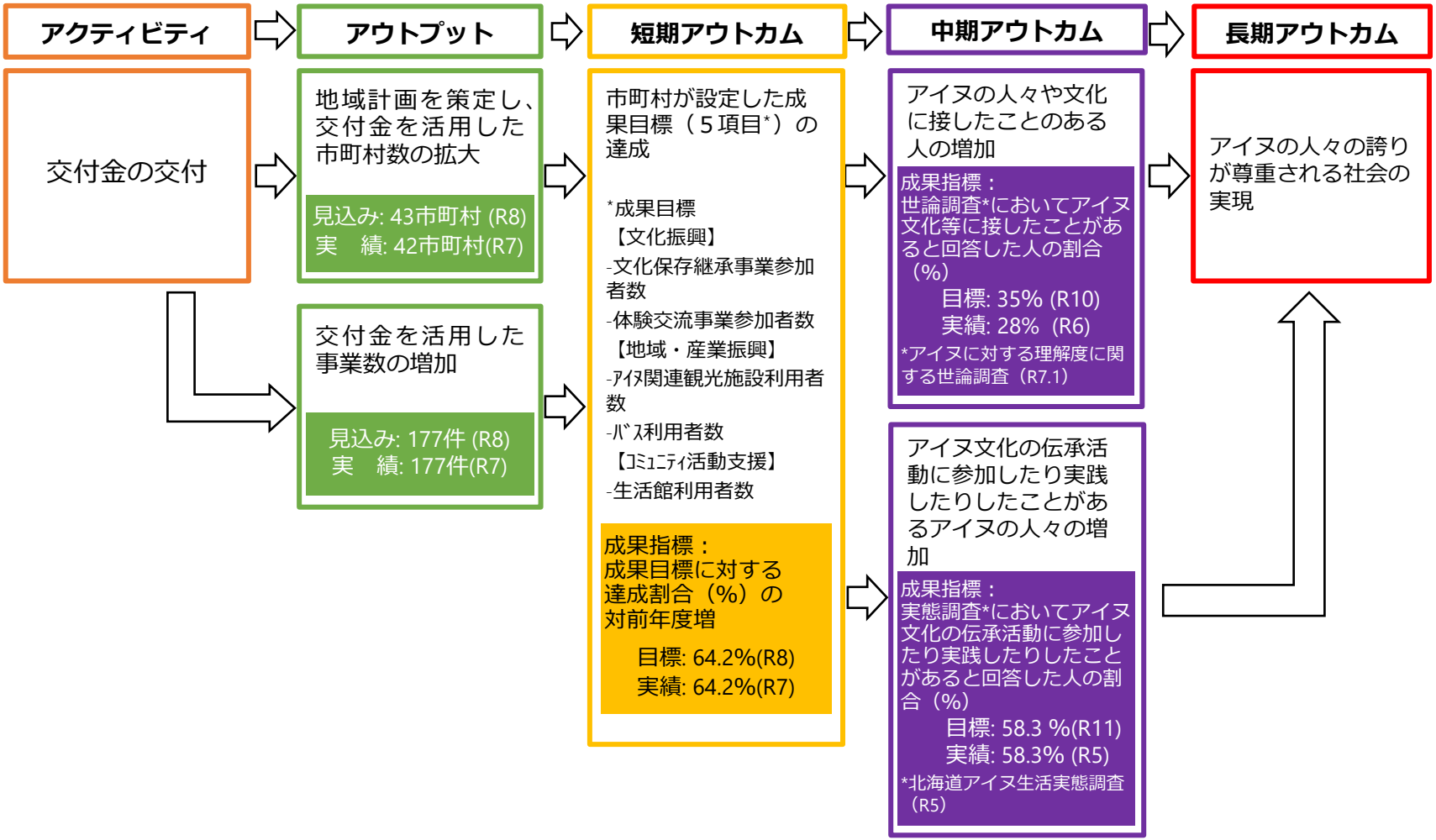
- **活動目標、成果目標のつながりが論理的に整理**されており、事業を評価・改善等するための議論ができる土台となっている。
- 事業の性格等を踏まえ、交付金活用市町村数や交付金を活用した事業数といった、**活動状況を測定可能な指標が複数設定**されている。
- 短期・中期アウトカムについて、**定量的な効果測定が可能な成果指標が複数の観点から設定**されている。
- 交付金の効果的な執行のため、「アイヌ政策推進交付金活用ガイドブック」の配布や市町村向け現地説明会を通じ、**事務の円滑化等の取組を実施**している。
- **事業実施主体や利用者等の意見を適切に聴取して、成果及び課題を明確にし、事業の改善につなげている。**

（別紙）アイヌ政策推進交付金

アイヌ施策推進法に基づき、市町村が作成し、内閣総理大臣が認定する「アイヌ施策推進地域計画」に基づく文化振興、地域・産業振興、コミュニティ活動支援の取組を支援する。（事業開始：令和元年度、令和８年度予算：26.7億円※）

※令和8年度当初予算、前年度繰越の計

■ ロジックモデル



アイヌ政策推進交付金について

○アイヌ施策推進法に基づき、市町村がアイヌ施策を推進するための計画を作成し内閣総理大臣の認定を申請。
○同計画に基づく文化振興、地域・産業振興、コミュニティ活動支援の取組に対して、アイヌ政策推進交付金を交付し支援（補助率8/10）。 ※令和8年10月時点：活用市町村数38

○文化振興事業

①伝統的な工芸技術等の後継者育成



チセのカヤ葺き替え
（平取町）

②学校での文化体験



アイヌ語学習（小学校）
（平取町）

③博物館・資料館の改修



歴史と自然の資料館展示スペースの改修
（根室市）

○地域・産業振興事業

④観光ガイドツアーの造成



観光ツアーガイドの育成及びツアー造成
（釧路市）

⑤アイヌ文化のブランド化



商品開発とふるさと納税返礼品への登録
（札幌市）

⑥コミュニティバスの運行



アイヌ文様ラッピングバスの運行
（白老町）

○コミュニティ活動支援事業

⑦生活館の改築・改修



多機能型交流施設の整備
（洞爺湖町）

⑧エカシ・フチ事業



アイヌ高齢者の言い伝えの聞き取り
（千歳市）

⑨海外先住民族との交流



アラスカ先住民族との交流
（千歳市）